

市役所の組織が変わります



社会経済状況が急速に変化する中、さまざまな行政課題に対応するため、限られた財源、限られた人員の中で、簡素で効率的かつ合理的な体制へと見直し、4月1日から新しい組織で行政サービスを実施します。

柱となる3つの基本方針

今回の組織再編は、次の3つを基本方針として実施します。

①重要課題を解決する施策実現型組織

南丹市が抱える危機管理対策などさまざまな重要課題を解決し、まちづくりの重点事業などを着実に推進し、柔軟かつ迅速に対応するための組織を目指します。

②収入を生み出す仕組みをつくる財政基盤強化型組織

収入の強化や経費の節減による財源を生み出せる仕組みをつくり出すため、職員の力が最大限に発揮できる組織を目指します。

③簡素で効率的な機能型組織

限られた人員で業務の効率性と専門機能の強化を図るため、本庁に集約して強化する機能と支所に置くべき機能を合理的に配置した組織を目指します。

組織改正の主なポイント

①市長公室の設置

市長のトップマネジメントを補佐し、総合的な政策調整を行うため、「市長公室」を設置します。

②危機管理監の設置

災害時における市の指揮命令系統を一元化し、より迅速な対応ができる体制を整えるため、総務部に「危機管理監」を設置します。

なお、危機管理監は、災害発生時に、地域の防災基盤である支所と本庁の状況に応じた迅速な対応ができる体制を整えるため、本庁と支所間の統括・調整を行う「支所担当部長」が兼務します。

③地域振興部の設置

子育て世代に選んでもらえるような地域のまちづくりを推進するために、地域が自らの良さを情報発信し自発的に地域振興を図ることができるよう支援する「地域振興部」を設置します。

④市民部と福祉保健部の設置

従来の市民福祉部を改編し、総合窓口の設置による市民サービスの向上と人権尊重のまちづくりを推進する「市民部」と、子育て・保健・医療・福祉の総合的な体制を整えるため、「福祉保健部」を設置します。

⑤商工課の設置

消費者のニーズを的確に捕捉し、「南丹」のブランドマーケティングによる3次産業の強化を図ることで、1次産業・2次産業の販路を拡大していくために、「商工課」を設置します。

⑥観光交流室の設置

観光資源の掘りおこしや新たな目玉となる観光コンテンツづくり、市内観光周遊ルートの整備など、南丹市の観光の一本化を図り、南丹市を通過点で終わらせない滞在型の観光を構築する「観光交流室」を設置します。

⑦支所機能について

支所の業務は、窓口サービスを重点的に確保し、本庁との連携強化と支所の効率的な総合支援を行うため、3支所に「支所総務課」を設置します。

また、各支所に支所業務の総括・調整・管理全般を担う「支所担当長」を設置します。

部署名	主要業務
市長公室	総合企画・調整、地域創生戦略、予算その他財政、秘書、広報広聴など
総務部 支所担当部長 (危機管理監)	市議会、庶務・文書・例規、統計、人事、行政改革、市税の賦課・徴収、財産・契約、消防防災、支所など
地域振興部	地域情報化、定住促進、交通対策、地域振興、市民協働など
市民部	戸籍・住民記録、国民健康保険、国民年金、環境対策、廃棄物処理、清掃対策、人権政策、女性政策など
福祉保健部 (福祉事務所)	民生・生活保護、障害者福祉、高齢者福祉、介護保険、児童福祉、子育て支援、保育所・幼稚園・すこやか学園、健康推進、医療など
農林商工部	農業、林業、水産業、商業・工業、労働政策、企業誘致、観光など
土木建築部	土木、道路・橋りょう・河川、都市計画、区画整理、公営住宅、住宅政策、営繕など
上下水道部	上水道、下水道
教育委員会	人事、施設管理、就学、学習指導、社会教育、社会体育、文化財保護、図書館など